



目的に応じて、 必要な内容を取り上げて書く力

B
2
1

星野さんは、「かみかみあえ」のむし歯を防ぐ効果に着目して【おすすめする文章】の□を書くことにしました。そこで、以前メモしていた【保健室の先生の話から分かったこと】を取り入れてくわしく書くようとしています。□に入る内容を、あとの条件に合わせて書きましょう。

〈条件〉

- 【紹介する文章】と【保健室の先生の話から分かったこと】から言葉や文を取り上げて書くこと。
- 【おすすめする文章】にふさわしい言葉を用いて書くこと。
- 書き出しの言葉に続けて、五十字以上、八十字以内
にまとめて書くこと。

【紹介する文章】

「かみかみあえ」は、するめが入っていて、よくかんで食べるこんだてです。そのため、このような名前がついています。
するめのほかにも、にんじんやきゅうり、もやしなどの野菜が入っていて、栄養のバランスやいろとりも考えられています。
中華風ドレッシングの味やするめのうまみが野菜にしみこんでいます。

【保健室の先生の話から分かったこと】

- 食べ物をよくかむと、
- 口のまわりのきんにくを動かすことになり、のうの働きが活発になる。
 - だ液がたくさん出て、口の中をきれいに保つので、むし歯になりにくい。
 - まんぶく感が得られ、食べ過ぎにならない。
 - 食べ物本来の味が分かるので、うす味の食事に慣れる。
 - だ液の量が増え、消化がよくなる。

【正答例】

「かみかみあえ」は、するめが入っていて、よくかんで食べるこんだてです。よくかむため、だ液がたくさん出て、口の中をきれいに保つので、むし歯になりにくいのです。

特徴的な誤答の例

- ・だ液がたくさん出て、口の中をきれいに保つので、むし歯になりにくいこんだてなのです。【解答類型 5】（むし歯を防ぐ効果について、詳しく説明するために必要な内容の一部しか取り上げていない。「よくかむ」という内容を取り上げていない。） → **取り上げた内容が、目的に対して不十分！**
- ・よくかんで食べるこんだてなので、口のまわりのきんにくを動かすことになり、のうの働きが活発になります。【解答類型 99】（推薦の理由として「むし歯を防ぐ効果がある」という内容を取り上げていない。） → **取り上げた内容が、目的や意図に合っていない！**

授業改善に向けて

読み手に自分の考えが伝わるように文章を書くために

ポイント

むし歯を防ぐ効果を詳しく伝えるために、2つのメモから、必要な内容を結び付けて書いているかな？
書いた文章を読み返してみましょう。

- ① 目的や意図に応じて、集めた材料を内容ごとにまとめたり結び付けたりして、必要な内容を適切に取り上げる。(第5・6学年Bア)

「かみかみあえ」をおうちのメニューに加えてもらうためには、どんなことを詳しく書けばおうちの人に納得してもらえるかな？

- ② 目的や意図に応じて、文章のどこを詳しく、どこを簡単に書けばよいかを考え、構成や書き表し方を工夫する。(第5・6学年Bイウ)

書く目的や意図を意識するような課題や発問の工夫

読み手に分かりやすい文章を書くために、内容や構成を検討したり書き表し方の工夫について考えたりする際に、書く目的や相手、状況などを意識することが大切です。

なぜ分かりやすいのか、目的に照らし合わせて、理由を考えたり話し合ったりする活動などが考えられます。

AとBの文章を比べると、どちらの方がおうちの人に分かりやすく伝わるかな？

どこが分かりやすいかな？
どうして分かりやすいのかな？

給食のこんだてを家庭のメニューに加えてもらうために、おすすめする文章を書こう。



書く目的や意図を意識して、書き表し方を工夫する活動を取り入れる！